

## 国立病院機構和歌山病院での臨床実習を終えて



曾和 幹

今回、国立病院機構和歌山病院で 2 日間の実習をさせていただく貴重な機会がありました。院長の南方先生には、胸部 X 線の仕組み、読影方法についての講義をしていただきました。今までの X 線の画像所見はどうしても苦手意識が先行してしまい、避けがちでありました。南方先生の御指導で、なぜ胸部 X 線写真ができるかという原理、正常と異常、どこに注目すべきかということをしっかり考えて見るものだということを知りました。

実際に理解することは丸暗記と大きく異なるので、講義の後は胸部 X 線所見はさほど難しいことではないと感じることができました。また夕食会では、美味しい料理と共に先生とお話しをさせて頂く貴重な機会を設けて頂きありがとうございました。

和歌山病院には最新の結核病床があり、自身初めて結核病床を見学することができました。肺結核についてのレクチャーを副院長の駿田先生にいただき、結核の病態、治療、対策などについて理解を深めることができました。また、結核病棟に N95 マスクを装着して赴き、結核患者さんと接することで患者さんとの配慮、接し方について学ぶことができました。実際に結核医療の場を経験することで、座学では学べない現場の結核医療を身をもって学ぶことができ、非常に印象的でした。

和歌山病院で充実した実習をさせていただく機会を設けて頂いた院長の南方先生、副院長の駿田先生を始め、和歌山病院の先生方には多くのことを御指導いただき、ありがとうございました。今回の実習で学んだことは貴重な経験として、将来に活かせるようこれからもより一層頑張っていきたいと思っております。2 日間ありがとうございました。